

第759回栃木県選挙管理委員会会議録

1 日 時 令和6年4月24日（水） 午後2時00分～午後2時35分

2 場 所 選挙管理委員会室

3 出席者 委員長 金田 尊 男
委員 青田 賢 之
委員 松永 安優美
委員 杉田 明 子
書記長 佐瀬 学
書記長代理 大根田 守
選挙係長 吉澤 滋
係長 松本 祥太郎
主任 若目田 圭 佑
書記 店網 有 哉

4 付議事件

(1) 議題

議案第1号 議決事項の一部変更について

(2) 報告事項

- ア 職員の異動について
- イ 市町選挙の結果について
- ウ 教育委員会との打合せの結果について
- エ 今年度の主権者教育の取組事業について
- オ その他

5 会議内容

委員長は、開会を宣し、直ちに会議に入る旨述べた。

議題

議案第1号「議決事項の一部変更について」

書記長は、令和5年4月23日執行小山市議会議員選挙に係る当選無効裁決取消請求事件について前回の委員会において処理方針を決定したが、定期人事異動に伴い指定代理人を変更するものであり、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

委員長は、本議案について各委員に諮ったところ異議がないので、原案のとおり決定する旨述べた。

報告事項

ア「職員の異動について」

イ「市町選挙の結果について」

書記長は、資料に基づき説明した。

杉田委員は、矢板市長選挙の結果について年齢階層別投票率は後日分かるのか事務局に問うた。

選挙係長は、年齢階層別投票率について18～19歳は前回とほぼ同じであるが、20歳以上についてはどの年齢階層も投票率が前回に比べ上昇しており、特に30代においては前回より約10ポイント上回っている旨述べた。

委員長は、若い世代では具体的には何%上昇しているのか事務局に問うた。

選挙係長は、30～34歳では36.98%から47.65%に、35～39歳では43.78%から56.61%にな

った旨述べた。

青田委員は、投票率が上昇した理由は分析できているのか事務局に問うた。

選挙係長は、市選管としては投票の呼びかけや投票日の周知は前回と特段変わったことはしていないということである旨述べた。また、片岡地区で市民団体が特定の候補者に偏ることなく投票の呼びかけをしていた様である旨述べた。

ウ「教育委員会との打合せの結果について」

エ「今年度の主権者教育の取組事業について」

書記長は、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

杉田委員は、主権者教育について事業を行った都度委員会で報告するのか事務局に問うた。

選挙係長は、適宜まとめて報告したい旨述べた。

委員長は、県立高校については5月下旬にアンケートの回答が集約された時、中学校については6～7月に市町の選挙管理委員会と教育委員会に具体的なアプローチをする時が委員会に報告するタイミングになると考えられる旨述べた。

オ「その他」

書記長は、1点目は年間事務日程概要についてであり、詳細については選挙係長から説明する旨述べた。

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

委員長は、各委員に質疑を確認したが、質疑はなかった。

書記長は、2点目に次回委員会の日程について、6月委員会は令和6年6月26日（水）の午後2時から、7月委員会は令和6年7月17日（水）午後2時からとしたい旨述べ、了承された。

青田委員は、主権者教育について、矢板市長選挙において若年層の投票率が高かったのも、その要因を分析して今後に活かしてほしい旨述べた。

委員長は、市町選管で年齢階層別投票率を分析し、それをふまえて若い世代へのアプローチを考えるなど、データを整理して施策に活かしていくことが重要である旨述べた。

委員長は、本日の委員会の議事は全て終了したことを述べ、会議の閉会を宣した。